

平成 30 年 12 月 27 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学大学院医学研究科
精神・認知・行動医学分野 教授 明智 龍男
(電話：052-853-8271)
名古屋市立大学
医学・病院管理部教育研究課課長 田中 雅隆
(電話：052-853-8076)
(名古屋市政記者クラブと同時発表)

名古屋市立大学にて「慢性疼痛に対する集学的アプローチの実際—心理療法、理学療法をとりいれた多職種実践ワークショップ」を開催します

名古屋市立大学病院では、慢性疼痛診療に関心のあるすべての医療人に向けた「慢性疼痛に対する集学的アプローチの実際—心理療法、理学療法をとりいれた多職種実践ワークショップ」を開催いたします。

つきましては、本シンポジウムを広く知っていただくためにご案内申し上げるとともに、あわせて是非ご取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 日時 平成 31 年 2 月 9 日(土) 14 時 00 分 ~18 時 00 分
- 場所 名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟 3 階 大ホール等
- 対象者 医師、看護師、理学療法士、薬剤師、臨床心理士など慢性疼痛診療に関心のあるすべての医療人
- 内容
【講義】
慢性疼痛治療に対する集学的アプローチ
慢性疼痛患者の抑うつ、発達障害の評価 (質問紙による評価を中心に)
慢性疼痛患者に対する理学療法
慢性疼痛患者に対する認知行動療法 (ACT によるアプローチを中心に)
【グループワーク】
架空事例をもとに (精神・運動面を中心に) 多角的評価と支援案を検討する
- 参加費 無料
- 定員 講演のみ、先着 150 名程度。申込不要。
グループワーク参加希望は、事前申込必要。
平成 31 年 1 月 9 日 (水) までに以下、アドレスにお申込みください。
Mail:manseit@sec.nagoya-cu.ac.jp
※詳細は別紙ポスターをご覧ください。

慢性疼痛に対する集学的アプローチの実際 —心理療法、理学療法をとりいれた多職種実践ワークショップ

日時：2019年 2月9日 土曜日 14時～18時

会場：名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟 3階大ホール
アクセス：地下鉄桜通線「桜山」駅下車3番出口よりすぐ

総合同会 名古屋市立大学 麻酔科学・集中治療医学 教授 祖父江 和哉

- 14:00～ 開会の挨拶 名古屋市立大学 学長 郡 健二郎
- 14:15～ 講演1 慢性疼痛治療に対する集学的アプローチ
名古屋市立大学病院 いたみセンター長
名古屋市立大学 麻酔科学・集中治療医学 教授 杉浦 健之
- 14:30～ 講演2 慢性疼痛患者の抑うつ、発達障害の評価(質問紙による評価を中心に)
名古屋市立大学病院 いたみセンター副センター長
名古屋市立大学 精神・認知・行動医学 特任助教 近藤 真前
- 14:45～ 講演3 慢性疼痛患者に対する理学療法
名古屋市立大学 リハビリテーション技術科 理学療法士 吉戸 菜摘
- 休憩—
- 15:15～ 講演4 慢性疼痛患者に対する認知行動療法(ACTによるアプローチを中心に)
名古屋市立大学 精神・認知・行動医学 臨床心理士 酒井 美枝
- 休憩—
- 16:30～ グループワーク <第一会議室にて実施>
架空事例をもとに(精神・運動面を中心に)多角的評価と支援案を検討する
- 17:30～ 閉会の挨拶 名古屋市 病院局長 大原 弘隆

対象者

医師、看護師、理学療法士、薬剤師、臨床心理士など
慢性疼痛診療に関心のあるすべての医療人

定員

グループワーク30名(事前に申込が必要です)
講演のみは当日150名先着順

受付締切日

2019年1月9日(水) 12時

参加
無料

- ① 氏名・職種・所属医療機関名・電話番号記載の上、グループワーク参加希望の旨下記メールアドレスにお送りください。
(受付完了メールを事務局より10日以内にお送りします。※年末年始除く)
- ② 受付期間終了後、参加可否通知を事務局よりお送りします。
- ③ 当日、受付にて受講可否通知を印刷して提示してください。

お問い合わせ先：名古屋市立大学教育研究課学術研究推進係 tel: 052-853-8077
メール: manseit@sec.nagoya-cu.ac.jp

主催：名古屋市立大学 後援：名古屋市